



PRESS RELEASE

2008 年 9 月
RIMOWA 日本総代理店
株式会社 林五

日本初のリモワ旗艦店を2008年 10 月 4 日、 丸の内仲通りにオープン！



RIMOWA の日本総代理店・(株)林五は、2008 年 10 月 4 日、世界に名だたるブランドショップが立ち並ぶ丸の内仲通りに、日本では初となる旗艦店(フラッグシップショップ)、「リモワ 丸の内」をオープンいたします。

丸の内店では、アルミ、ポリカーボネイト素材の商品ラインナップを充実させるとともに新作や丸の内店限定商品など幅広く取り揃えていきます。旗艦店ならではの商品プレゼンテーションで、今まで伝えきれなかった RIMOWA のシンプルで機能的かつ耐久性に優れる“ジャーマン・クオリティ”の神髄が実感できるショップとなっています。

【店舗情報】

店名：リモワ 丸の内店

住所：東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 1 階

敷地面積：96.3 平米

営業時間：午前 11 時より午後 8 時

店舗電話番号：03-5224-3377 (10 月 4 日～)

取扱い商材 トパーズ、サルサ等 RIMOWA の通常商品の他、店舗限定商品も積極的に展開していく予定

【オープン記念企画】

- ・リモワ 丸の内店でしか買えない限定商品の販売(10 月末予定、10 月 4 日から先行予約開始)。
- ・リモワの年代物の商品タグ、ロゴ等を使ったステッカーシールプレゼント(商品購入者先着 300 名様)
- ・年代物の過去商品をドイツから取り寄せ、店内に展示いたします。100 年以上の歴史を誇るリモワの貴重なアーカイブはファン必見です。

■ 本件の取材等に関するお問い合わせ



Ifca showroom 担当：石村 成世

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-7-20 神宮前太田ビル 6F

TEL：03-5464-7365 FAX：03-3797-7850



RIMOWA MARUNOUCHI

進化し続ける“RIMOWA の旅”

RIMOWA は、ヨーロッパはもとより、世界の一流スーツケースメーカーの一つとしての地位をすでに確立しています。創業は1898年。RIMOWA のシンボルとも言われるリブ加工（表面凹凸）が生み出されたのは1935年のことです。創業当時から現在に至るまで世界中のセレブたちに愛用され、またポルシェ、ルフトハンザなどのコラボレーションモデルでも話題を提供してきました。

RIMOWA が世界中の旅行者に愛されてきた理由は、創業者ポール・モルシェックの“ハンドクラフトマンシップ”や“素材へのこだわりと正確な製造”といった伝統を代々受け継ぎつつ、その時代の最新のテクノロジーを取り入れてきたことによるものです。

現在の RIMOWA を率いるディエター・モルシェックのスローガンは「Handwork meets Hightech（手仕事とハイテクの融合）」氏はこの方針を実行に移し、今も尚、さらなる極みを追求し続けています。

RIMOWA のグローバル戦略は「こだわり持つすべての旅行者が、最初にセレクトするスーツケース」をテーマに積極的に展開しています。現在、欧米を中心とした RIMOWA 主力店舗は香港、台湾、ソウルなどアジア地域へも出店しています。日本では、すでにプレミアムブランドにおけるマーケットリーダーとしての地位を確保しています。しかし、これまでフラッグシップショップはありませんでした。

日本における RIMOWA のパートナーである(株)林五は、その RIMOWA のグローバル戦略に応えるため、また、日本の RIMOWA ユーザーに対し、今まで以上のきめ細かいサービスをご提供するため、日本初のフラッグシップショップをオープンさせることとなりました。スーツケースの品質、機能、デザインに関するニーズ、そして旅行者のささいなこだわりにも応えていきたいと考えています。

進化し続ける“RIMOWA の旅”の今後にどうぞ、ご期待ください。



RIMOWA STORY

- 1898年 ポール・モルシェックはスーツケースの製造を志し、ひとつのファミリービジネスを興しました。牛革を素材として使用した彼のスーツケースは、当時の有産階級の人々の自動車旅行に、船旅に、そしてオリент急行に代表されるような列車旅行の良き伴侶として愛用されたのでした。
- 1918年 第一次世界大戦後の経済的混乱は、彼の工場経営にある転機をもたらしました。ヨーロッパ全域での牛革の品不足が極めて深刻となり、金属やファイバーのような他の素材に、より関心を示すきっかけを与えたのです。この頃、イタリアのグッチが、牛革にかわり、キャンバス地に豚皮の付属を使用した鞆の製造を開始したのも、これと全く同じ理由によるものです。
- 1930年 彼の息子でリヒヤルト・モルシェックが工場を引き受け、社名も RICHARD (リヒヤルト) MORSZECK (モルシェック) WARENZEICHEN (ヴァーレンツアイヘン)、すなわち、「リヒヤルト・モルシェック商標」と改められました。
RI・MO・WA のトレードマークの誕生です。
- 1935年 ある日、ベルリンより国防軍の装備調達局の将官が、密かに RIMOWA 社を訪問しました。彼の要望は、局地や熱帯での作戦行動に絶え得る、軍事コンテナの開発に絞られていました。皮革素材は採用されませんでした。なぜなら、湿度や高温、あるいは過酷な低温の影響を受けない素材として、アルミニウムが第一候補となったからなのです。アルミシートの表面強度を確保するために、当時ドイツの代表的航空機であった、ユンカース 52 (JU-52) の外板設計技術が参考にされました。
リモワケースの、優れた耐久性が維持されている、もっともベーシックな特徴である表面リブ加工 (凸凹) は、かくしてあみ出されたのです。
- 1945年 第二次世界大戦中の連合軍の猛爆により、アルミの在庫以外のほとんどの資材が失われる結果となりました。リヒヤルト・モルシェックの持つ豊かな創造力は敗戦のドイツにあって、彼の工場に残された唯一の素材、すなわちアルミシートを使用したケースのスペシャリストになることに絞られたのです。本格生産は、1950年より開始されました。
- 現在 経営は創業者の孫、ディエター・モルシェックに受け継がれ、リモワ社の商品開発能力は頂点に達したかの感があります。他に類のない近代的外観、世界一の軽量、そして驚嘆に値する耐久性を持つ、このアルミケースは少数の古い意識を捨てきれない人々、すなわち、取るに足りないへコミや傷を気にする旧世代を越えて、より多くのソフィステケートされたフレキユエント・トラベラーに愛用されています。



Handwork meets Hightech



RIMOWA の原理: 手仕事とハイテクの融合

完璧な製品は、パーツを単に集めるだけでは完成しません。RIMOWA のスーツケースが、200 もの個別パーツに細心の注意を払い、心を込めて組み立てられているのは、まさにこのためです。90 を超える製造工程があるため、最先端技術と熟練された職人技がバランスよく共存します。これこそ、真の生産作業であると言えるでしょう。その結果、洗練されたデザインと最高の品質を完璧に組み合わせたスーツケースが完成するのです。



Products



■ Aluminium

1950 年、熱帯地方への旅行のために、アルミニウムとマグネシウムの合金を使い、リブ加工（表面凹凸）が施されたスーツケースが誕生しました。高い湿度から中身を守るだけでなく、極端な気温の変化もものともせず、どんな冒険にも耐えることができます。

以来、RIMOWA のアルミ素材・スーツケースは、軽量で耐久性のあるスーツケースのひとつとしてベストセラーとなり、今も尚、進化を続けています。

【機能】

マルチホイール Multiwheel・キャスターシステムは、65 ミリの大きな車輪でどんな障害物もらくに乗り越え、どんな方向でも安定して走行します。

TSA 対応のコンビネーションロックを標準装備。（サイズにより仕様が異なります。）

ディバイダーシステムは、スーツケースの中身の乱れを防止。荷物の量に関係なく、荷崩れの心配がありません。

【シリーズ】

『TOPAS』 『TOPAS attache』 『SILVER INTEGRAL』 『TOPAS PREMIUM』



Products



■ Polycarbonate

ポリカーボネイト素材は、RIMOWA が鞆メーカーとして世界で初めてシリーズ化に成功したハイテク素材です。非常に軽く、スーツケースのふたがへこむほどの圧力がかかっても、元の形に戻ります。『サルサ』シリーズは、ドイツの TUV(ドイツ車検技術監査協会:クルマや他の商品の耐久テストを行う)の大掛かりな商品テストを受け「最も軽くて有能な商品」として表彰されました(2004年度、2005年度)。

「やわらかなカジュアルさと、旅行用スーツケースとしての耐久性」この、両極にあるニーズに応えるため、軽量で耐熱・耐寒・撥水性を保持するポリカーボネイト・ケースのスタンダードです。

【機能】

マルチホイール Multiwheel・キャスターシステムは、65 ミリの大きな車輪で、どんな方向でも安定して走行します。TSA 対応のコンビネーションロックを標準装備。

ディバイダーシステムは、スーツケースの中身の乱れを防止。荷物の量に関係なく、荷崩れの心配がありません。

【シリーズ】

『SALSA』 『SALSA PLUS』 『SALSA DELUXE』 『TANGO LIGHT』 『SAMBA』 『BOLERO』



COMPANY PROFILE



HAYASHIGO CO., LTD.
BAG & LUGGAGE

株式会社 林五では、1980 年よりドイツ、リモワ社よりアルミ素材のスーツケースを始めとしたリモワ製品の輸入を開始。以来約 25 年の間、着実にシェアを伸ばし続けてきました。このたび、ドイツ、リモワ社のグローバル戦略に則り、日本で初となるアルミ素材及びポリカーボネイト素材のスーツケースを中心としたリモワ製品を扱う路面店を始動致します。

■社名 株式会社 林五

■本社所在地 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 3 丁目 4 番 23 号 林和ビル
TEL(06)6243-7676(代) FAX(06)6243-8998

■東京店所在地 〒111-0052 東京都台東区柳橋 2 丁目 20 番 13 号
TEL(03)3861-2297(代) FAX(03)3864-0440

■八尾発送センター所在地 〒581-0042 大阪府八尾市南木の本 2 丁目 19
TEL(072)994-7834(代) FAX(072)994-7864

■創業 明治 23 年 11 月 (1890 年)

■資本金 108,000,000 円

■業務案内 鞆、企画、製造、卸売業

■代表者 代表取締役 林 大助